

2015年度

第24回 通常総代会議案 (骨子)

日 時：2015年6月20日(土) 14:00～17:00

会 場：長岡ランドホテル 4階

住 所：長岡市東坂之上町1丁目2番地1



2014年6月18日 バスハイク・北方文化博物館

第1号議案 2014年度事業報告・決算関係書類承認の件

■ 2014年度のまとめ

1. 2014年度の特徴

第二次安倍内閣になって2年半余りが過ぎました。特定秘密保護法、集団的自衛権をめぐる安保法制化、ならびに憲法改定に向けた動きが加速されており、国民的議論になっています。また、多くの国民の賃金が上がらない中、円安株高による公共料金や食材の値上げ等が物価を押し上げ、生活の負担感が増しました。さらに3年に1度の介護報酬改定ではマイナス2.27%の大幅な引き下げが示されました。報酬の引き下げは介護従事者の他産業との賃金格差をますます広げ、介護事業全体の縮小に直結します。今回の報酬引き下げは、介護事業の継続には厳しい一撃となりました。

このような中、私達ながおか医療生協は、震災支援、災害支援などを行いながら、医療福祉生協連全国4課題や組合員の皆さんとともに明るく健康な地域づくりに取り組み、2020年を見据えた「ながおか医療生協型地域包括ケア」が着実に前進しました。

2. 2014年度の活動

2014年度は総代会方針に基づき、「協同の力で、いのち輝き、くらしきらめく地域をつくろう」の実現と「組合員の協同で、いのちとくらしを支える運動をひろげます」活動を進めることができました。さらに東日本大震災などの災害支援にも取り組むことができました。

(1) くらしの協同 地域のくらしを支える活動でまちづくり運動を進めることができました

- 厚生労働省主催の「第3回健康寿命をのぼそう！アワード」に応募し、厚生労働大臣企業部門優秀賞を受賞しました。医・福・食(職)・住を中心とした暮らしへの切れ目ない取り組みが評価されました。
- 地域交流空間「わいが家」を拠点とした、参加型の助け合いシステムを進め、長岡市のモデル事業として認められました。(サロンや喫茶、健康教室など憩いの場、助け合いの場など)
- 東日本大震災被災者のくらしを支える募金活動や浜通り医療生協への訪問活動に取り組みました。3年連続の福島サマーキャンプを行いました。

(2) 医療、介護事業 事業活動の取り組み

- 生協こどもクリニックで、障がい児への訪問診療と訪問リハビリの利用が増え、様々な支援の広がりが進みました。

- 長岡市で、胃癌リスク健診(ABC健診)が始まり、両診療所で内視鏡検査等の件数が増えました。
- 生協診療所・かんだ診療所を中心とした地域医療・在宅医療と介護、くらしの連携が進み、「自宅での看取り」の要望にも応えることができました。
- 社会福祉法人の設立と福祉型児童発達支援センターと放課後等デイサービスの建設計画が進み、障がいを持つ子どもたちへの支援が現実になぞりました。
- 特別養護老人ホームや歯科診療所などの計画が具体化され、診療所の医療を中心とした地域支援システム「ながおか医療生協型地域包括ケア」が進みました。
- 2015年の介護保険法改定に対する準備を進め、通所介護、通所リハビリを中心に対策を講じました。(通所介護から通所リハビリへの転換など)

(3) 学術・研修活動

- 研修医(厚生連中央総合病院2名)の地域研修の受け入れを行いました。さらに医学生の実習(新潟大学)を受け入れました。
- 「私のリーダースタイルの確立」と題し、3回26名の事業所長研修を行いました。また、法人の理念を新たに決定し、職員への伝達講習を広く行いました。
- ながおか医療生協「チャレンジ学会」を行い、支部からの発表があり、学習の場がひろがりました。

(4) 支部活動・文化活動 互いに共感し、助け合える組織強化運動を行いました。

- 新潟県生協連医療部会役員交流集会をアオーレ長岡で開催し、県内医療生協から多くの役職員が集いました。身近な様々な課題を共有し、夢や希望の灯りを見出す集会となりました。
- 「誰もが生き生き“笑顔で長寿”のまちづくり」を目指し、組合員訪問活動に取り組み、その活動が高齢者組合員の見守り活動として読売新聞の全国版に掲載されました。
- 組合員が参加しやすい支部活動や班会・サークルづくり、運動教室を中心とした多彩な健康づくりに取り組みました。

新たに800名の組合員を迎えることを目指しました。

- 組合員、役職員が一体となって、地域の組合員ふやし行動を行い、810名の新規組合員を迎え、目標を達成することができました。
- 各事業所職員が地域を担当し、目標を持って組合員ふやしに取り組むことができました。組合員、役職員が一体となって、地域の組合員ふやし行動を行いました。

強いきずなをつくる1,000件、3,000万円の増資を達成しました。

- 社会福祉法人設立に向けて、支部・組合員、役職員が一体となった増資活動を行い、1,014件、3,970万円となり目標を達成しました。
- 支部を中心とした健康まつりや班会が前進し、組合員や地域の皆さんの参加がより一層進みました。

経営の安定と経営力の向上

2014年度は介護事業所の経営安定を目標としました。その結果、地域密着サービス事業を中心に改善が進み、予算を大きく上回る黒字計上をすることができました。

《当期は黒字で締めくくることができました。》

第2号議案 2015年度の事業計画及び予算計画決定の件

ながおか医療生活協同組合の法人理念

「医療・介護を通じて、健康で心豊かなまちづくりを目指します」

■ 2015年度の方針

1. 協同の力で、いのち輝く社会をつくる

(1) 「ながおか医療生協型地域包括ケア」を進めます

地域の子どもたちと高齢者が健康で安心して住み続けられるまちづくりが「ながおか医療生協型地域包括ケア」です。組合員や地域の皆さんとともにいのち輝く地域づくりを進めます。東日本大震災や自然災害の支援に継続的に取り組みます。

- 医・福・食（職）・住の切れ目ない事業の取り組みを一層進め、新しい地域支援事業では、助け合い活動などの生活支援サービスを進めます。（診療所・介護事業所・高齢者配食や送迎サービス、高齢者住宅など）
- 地域交流空間「わいが家」を拠点とした、いのちとくらしを支える活動（サロンや喫茶、健康教室など憩い・交流の場、生協型生活支援サービスたのむ手）をより一層進めます。
- 新しい小児科クリニックを開設し、「誰もが生き生き」子どもたちも高齢者も笑顔”のまちづくり”をひろげます。（親子サークル、子育て相談・サポート、子どもたちと高齢者の交流など）
- 東日本大震災や自然災害への支援を継続します。
被災者のくらしを支える募金活動や現地訪問活動に取り組みます。福島サマーキャンプを引き続き行います。

(2) 2015年度の事業活動の位置づけと取り組み

新しい小児科クリニック「あたごこどもクリニック」を開設します。社会福祉法人を立ち上げ、障がい児の通所サービス事業を開設します。さらに4つ目の認知症グループホームの開設を準備します。歯科診療所や特別養護老人ホーム計画を確実に開設できるよう進めます。

- あたごこどもクリニックを開設し、生協こどもクリニックとともに明るく、受診しやすいクリニックを目指します。
- 社会福祉法人を設立し、障がい児の自立支援・適性の向上、日常生活の充実に向け「児童発達支援センター」と「放課後等デイサービス」を設立・開始し、障がいを持つ子どもたちへの支援をひろげます。
- 生協診療所・かんだ診療所を中心とした地域医療・在宅医療と介護、くらしの連携をより一層強めます。
- 特別養護老人ホームや歯科診療所、4つ目の認知症グループホームなどの開設計画を推進し、診療所の医療を中心とした「ながおか医療生協型地域包括ケア」の一層の充実を図ります。
- 2016年の診療報酬改定に向けての準備を進めます（病院からの早期退院患者さんの在宅医療の充実など）。
- 2020年までの新規事業計画に向けて、中堅職員教育の充実と新規採用計画の策定を進めます。

2. いのちとくらしを支えるながおか医療生協になろう

(1) 生協の仕組みを生かす取り組みを進めます。

- ながおか医療生協創立20周年行事を成功させます。「20周年記念ながおか医療生協健康まつり」をアオーレ長岡で開催します。組合員を中心とした協同の力を結集します。
- 「見守り見守られる」活動をながおか医療生協の魅力として広げます。高齢の組合員訪問や高齢者配食の手渡し活動を広げます。
- 組合員が参加しやすい支部活動や班・サークルづくりをより一層進めます。
- 「誰もが生き生き、“笑顔で長寿”のまちづくり」で健康寿命を延ばす取り組みを重視します。

(2) 新たに1,000名の組合員を迎えます。

- 創立20周年、組合員1万人行動を提起します。組合員、役職員が一体となって、地域の組合員ふやし行動を行います。
- 各事業所が地域を担当し、目標を持って組合員ふやし行動を行います。


(3) 強いきずなをつくる1,000件、5,000万円の増資をめざします。

- 社会福祉法人を立ち上げ、特別養護老人ホームの開設に向け、支部・組合員、役職員が一体となった増資活動を強めます。



みんなで暮らすまちだから
みんなの笑顔でまちづくり



 ながおか医療生活協同組合

3. 2015年度予算案

- (1) 新しい事業が広がり、医療、介護、くらしの調和がとれる予算を組みました。
- (2) 地域貢献と事業が適正な収益につながり、経営が安定する予算としました。

上記事業の執行を理事会に一任願います。